

ミクロ経済学B 復習用

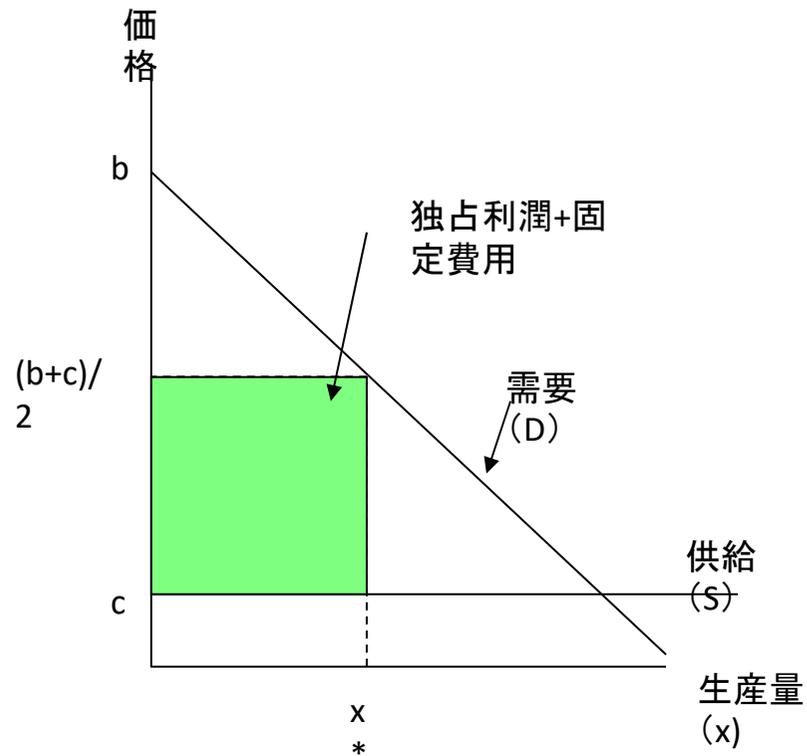
9～13回

2020年1月15日

独占モデル

- 売手が独占となっているときの数値モデル
- 小テストでは、簡単(具体的な)数値を用いて、計算する問題を1つ出題する。需要曲線と価格の a 、 b 、 c に数値が入る。

独占企業の価格行動



独占企業が価格を p に設定する。利潤は、売上マイナス費用である。

売上 = 価格 \times 売上数量 = px

一単位当たりの生産費用を c とすると、

費用 = cx

需要曲線 ($p = -ax + b$) で売れるという制約があるので、

利潤 = $px - cx = (-ax + b)x - cx$

これを二次式の完全変形すると、

$$-ax^2 + (b-c)x = -a(x^2 + (-(b-c)/a)x)$$

$$= -a(x^2 - 2((b-c)/2a)x + ((b-c)/2a)^2$$

$$- ((b-c)/2a)^2$$

$$= -a(x - (b-c)/2a)^2 + (b-c)^2/4a$$

独占利潤の大きさ

$$x^* = \frac{b - c}{2a}$$

これを需要曲線 $p = -ax + b$ に代入して、

$$p^* = \frac{b + c}{2}$$

独占の場合の、最大利潤は、

$$\pi^* = \frac{(b - c)^2}{4a}$$

最大利潤は、価格を b と c の平均値とすることで得られる。 b は平均費用よりも大きいので、独占となれば、価格を吊り上げることとなる。

外部不経済

- 外部というのは、売手でも買手でもない、周りの第三者が、生産や取引に影響されること。
- 周りの人に迷惑をかける生産・販売などの経済行為を、外部不経済があるという。
- 周りに良い影響がある場合は、外部経済があるという。
- 公害が外部不経済の代表例である。
- 小テスト問題：次のスライドで、ある物の清算に外部不経済が存在する場合に、市場の均衡はどうなるのが適切だろうか。図示せよ。

供給曲線は、外部不経済の迷惑分の費用を考慮すると、社会的供給曲線のところにあるはず。したがって、均衡点は、左上の点となる。価格が上がり、供給量は下がる

